

小特集

食品製造プロセスとモニタリング

日本食品工学会誌は継続的に各号に特集を組んだことはありませんでしたが、本号（2019年20巻1号）から、5回にわたって小特集を組むことにしました。他誌あるいは学会要旨集に掲載済みのものを本会会員向けに改訂していただいた原稿が主体です。

本号のテーマは「食品製造プロセスとモニタリング」です。4編の解説記事を掲載しています。一定品質の安定な製造には、製造プロセスの理解と、プロセスモニタリングは重要です。

残念ながら、多くの食品製造は経験的あるいは試行錯誤で決定された条件で実施されています。また、モニタリング手法も限定されており、製品の品質と規格（仕様）を確実にモニタリングするセンサーおよび手法の開発が必要です。今回の特集が、会員読者の今後の研究開発に役立つことを期待しています。

次号からは、下記のテーマで各号に4編程度の解説論文を掲載していく予定です。

【2号】おいしさと安全

【3号】乾燥・粉末化

【4号】食品加工と機能性

2020年

【1号】食品分離

小特殊担当編集委員 市川創作（筑波大学）

編集委員会委員長 山本修一（山口大学）